

主催：公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団
協賛：GEヘルスケア・ジャパン株式会社, 株式会社スクラム,
株式会社細胞科学研究所, TOTO株式会社

横浜バイオ医薬品研究開発センター技術セミナー 「アップストリーム基礎セミナー」

2013年8月27日（火）13:00～17:00
横浜市鶴見区末広町1-6 横浜バイオ産業センター 会議室にて

公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団は、国内におけるバイオ医薬品研究開発活性化の一助となるべく、横浜バイオ医薬品研究開発センター（YBIRD）で、バイオ医薬品に係る研究開発、受託調製・試験、教育研修に取り組んでいます。

今回の技術セミナーでは、協賛メーカー様のご協力のもと、無血清浮遊CHO細胞による遺伝子組換えタンパク質生産を題材として、細胞の取り扱いからスケールアップ培養に至るまでの技術的要点の概観および、資材・機器・技術の紹介も交えた事例紹介等をご提供致します。

バイオプロセスにかかわる皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【プログラム】

- 13:00～13:05 「開催のご挨拶」 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団
- 13:05～13:35 「無血清浮遊CHOの取り扱いと安定発現細胞作製手法」
TOTO株式会社
- 13:40～14:20 「細胞科学研究所の無血清培養液製品について」
株式会社細胞科学研究所
- 14:25～14:05 「シングルユースバイオリアクターを用いたスケールアップについて」
GEヘルスケア・ジャパン株式会社
- 15:10～15:25 休憩
- 15:25～16:05 「Fed-Batch培養と培地成分モニタリング」
株式会社スクラム
- 16:10～16:50 「細胞培養以降のプロセス概要およびスケールアップについて」
GEヘルスケア・ジャパン株式会社

【参加費】 無料

【お申込み】 ホームページ <http://yk-bio.net> からお申込みください。

※会場の都合上、**先着30名様まで**とさせていただきます。

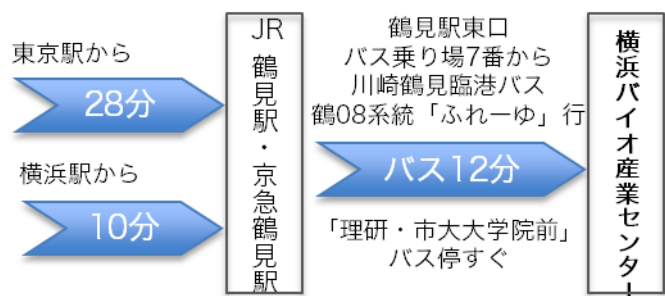
<会場のご案内>

横浜バイオ産業センター 会議室
<http://old.kihara.or.jp/chizu.pdf>

<お問合せ先>

公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団
〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-6
横浜バイオ産業センター
Tel:045-502-4810 E-mail:gmp@kihara.or.jp

☆交通アクセス☆



1. TOTO株式会社 13:05～13:35

無血清浮遊CHOの取り扱いと安定発現細胞作製手法

ベクターを相同組換えによって安定発現遺伝子座に組込むことで、安定発現CHO細胞を迅速かつ簡便に作製する手法について紹介する。無血清浮遊CHOの初歩的な取り扱いから各工程の留意点を概説する。

2. 株式会社細胞科学研究所 13:40～14:20

細胞科学研究所の無血清培養液製品について

培養技術者や無血清培養にご興味のある方を対象に、弊社で開発した各種無血清培養液や受託製造サービスのご案内、培養技術や品質管理の情報を紹介させていただき、各トピックに関するご理解を深めていただくセミナーです。

3. GEヘルスケア・ジャパン株式会社 14:25～15:05

シングルユースバイリアクターを用いたスケールアップについて

バイオ医薬品のプロセス開発から製造まで幅広くシングルユースバイリアクターが利用されるようになってきました。そこで、さまざまなスケールのバイリアクターを用いてスケールアップ条件を検討した例についてご紹介いたします。

休憩 15:10～15:25

4. 株式会社スクラム 15:25～16:05

Fed-Batch培養と培地成分

Fed-Batch培養は、栄養成分を培地中に加えていく事で高密度培養によるバイオ医薬品の生産性の向上を実現した。しかし、過剰な栄養成分は細胞増殖を阻害する代謝老廃物を蓄積する。ここでは培地中成分をモニターする重要性と測定技術を紹介する。

5. GEヘルスケア・ジャパン 16:10～16:50

細胞培養以降のプロセス概要およびスケールアップについて

細胞培養後の細胞除去および清澄化において利用されるフィルトレーション工程、目的タンパク質精製のためのクロマト工程概要、さらに、各工程のスケールアップ時における留意点等について実例を交えてご紹介いたします。

【お問合せ先】 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-6 横浜バイオ産業センター

Tel:045-502-4810 E-mail: gmp@kihara.or.jp